

## 第3回 全国版 子どもの集い・交流会のアンケート結果

### 1. 参加状況

参加者数：16名

内訳

20代：6名、30代：4名、40代：3名、50代：3名

女性：14名、男性：2名

東海地域：9名、関東地域：3名、関西地域：3名、その他：1名

初回参加：5名、2回目：4名、3回目：7名

### 2. 参加動機

- ・同じ立場の人と話してみたい、つながりを持ちたい
- ・自分以外の人が、どんな気持ちを持ち、どんな風に受け止めているのか知りたい（自分の生きづらさはあってもOKなんだと確かめたい）
- ・糸川先生の講演に興味があった

### 3. 集いの満足度

- ・70～80% 2名
- ・80～89% 4名
- ・90～99% 6名
- ・100% 4名

理由：グループ分けが顔見知りのメンバーばかりだった。新しい繋がりも持ちたかった。  
グループワークの時間がもう少し長いと良かった。打ち解けたところでタイムアウトになってしまった  
語りの場が緊張した  
小グループで話しやすかった。和やかな時間が持てた。話したいことが話せた。  
講演と交流の両方があってよかった  
参加者と同じ場を共有することができ、ほっとした気持ちを感じた

### 4. 講演に関する感想

- ・講演を聞いて、本人に納得のいく物語を作り出すことが、精神失調はじめ多くの病、障がいとの上手なつきあい方につながるのではないかと感じた。
- ・講演を聞いて、実体化できる場所は薬などで整え、その上で人との関わりや生活臨床で全体をみることが大事だと思った。
- ・引き込まれるような話も多く、自分の生活・体験と重ね合わせるところもあり、涙がこみ上げてきた。
- ・脳の外側にあるもの、心の環境を整え、整理していくことの大切さを感じた。
- ・糸川先生のお話は、ご自身の経験から考えや家族との関係も年々変化されていて、興味深かった。

- ・質問も多く出て、ほかの参加者の感動も伝わってきて、充実した思いを感じた。
- ・糸川先生の話がおもしろく、勉強になった。
- ・わかりやすく共感できた。
- ・引き込まれる講演だった。

#### その他の感想

- ・午前講義が午後のグループの話題にもなり、良かった。
- ・専門職のスタッフがいることで安心感があった。
- ・スタッフと参加者の区別がわかると、より安心できるかも。
- ・交流で、話したりメンバーの話を聞いたりする中で、通じ合える部分があり、来てよかったと感じた。

#### 5. 今後の要望

- ・行政の人にも入ってもらい、問題意識を持つきっかけになるようにしてほしい
- ・グループ分けの工夫：年代をごちゃ混ぜにしたパターンと年代別のグループのパターンの2パターン（2部構成）あると、ライフステージごとの話題ができるのでは？

#### 聞きたい内容・テーマ別で分けたグループ

- ・今後も、ゲームや簡単な運動などを取り入れて欲しい
- ・医療者・関係者の話をまた聞きたい。
- ・いろんな支援者の話を聞いてみたい。
- ・子ども1人1人では、こういう会の企画・実行が難しいので、サポートを考える会で学習会や交流会を聞かしてもらえると、聞きたかった方の話が聞けるので良い
- ・回復されてきた過程がわかり、気づきや活力になるので、体験談を聞く機会がこれからもあると嬉しい。
- ・アンガーマネジメントやマインドフルネスなどの学習の機会があれば

#### 6. 全体を通しての意見・感想

- ・若者の参加がもっとあれば。若者限定の会があるとよりフラットな感覚で参加できそうな気がする
- ・身近に子どもの立場の支援がまだないので、どんどん広げ、相談の場を増やして欲しい。
- ・行政や支援に関わる人を動かし、現状を良い方向に動かして欲しい
- ・参加者が安心できる環境を大事にして欲しい。
- ・小グループは5~6人がちょうど良い。これを崩さないで欲しい。
- ・来年も開催して欲しい
- ・無理をせず、余裕のある形で、細く長くこのような集いが続いていけると良いと思う。
- ・参加人数は少なくても、年に1度、こういう集いがあると良いと思う。
- ・貴重な機会をありがとうございました。